

アフリカ総合防災行政 Comprehensive disaster risk reduction for the African region		継続
対象国の条件: アフリカ全域 (TICADの対象国として北アフリカも含む)		
研修コース番号: 201984486-J002		
案件番号: 201984486		
主分野課題: 防災/総合防災		
副分野課題:		
使用言語: 英語		
案件概要		
災害に対する事前準備及び応急対応の方法に関する日本の教訓から、異なる災害に対する異なる対応方法を概括的に学ぶ。さらに研修を通して自国の災害の特徴を把握するとともに、事例演習を通して俯瞰的に自国を取り巻く災害パターンを理解し、自国に適切な防災体制を立案するために必要な基礎的能力を身に付ける。「仙台防災枠組ターゲットE」の推進を見据え、各国の防災計画の策定状況を共有し、防災計画等を踏まえた日本の知見を学ぶ。またアクションプランの実施を通して、適切な防災体制/計画が構築されることにより、アフリカにおける災害被害の軽減化を図る。		
目標/成果		対象組織/人材
【案件目標】 アフリカ各国の特有の状況に応じた防災計画立案のための基礎的能力を強化し、各所属機関の防災戦略・計画の精緻化に向けたアクションプランを作成することを目標とする。		【対象組織】 中央および地方政府における防災に関わる機関、部署 【対象人材】 防災・減災に関係する中央又は地方政府の担当者（防災分野での実務経験が2年以上ある者）
【成果】 1. 自国の災害リスクを把握するとともに、自国の防災体制の課題を抽出する。 2. 日本の過去の災害等の経験から得られた教訓を通して防災のコンセプト、実践的な防災対策手法を学ぶ。 3. 参加型アプローチを通して日本の経験を自国に応用するための基礎的知識、実践的手法を習得する。 4. 自国や所属機関における既存の防災計画・防災システム(災害統計含)を改善するためのアクションプランを作成する。		
内 容		
成果1. ジョブレポート作成、発表、PCMワークショップ、関係者分析等を通じて、自国の防災に関する課題の整理を行う。		本邦研修期間 2019/9/17～2019/11/2
成果2. 常時の防災体制及び災害時の緊急対応の取り組み事例、各災害外の特徴等の講義を通じて、災害の種類や性質により防災体制や対応方法の共通点や異なる点等を理解し、防災、減災に対する考え方、取り組み姿勢など基本的コンセプトを理解する。		担当課題部 地球環境部
成果3. 事例演習や被災地視察等を通して、防災の実践的な手法を学び、各国における適切な防災体制、緊急対応方法を自国の状況に合うように立案、改善する基礎的能力を身につける。		所管国内機関 JICA関西（業務一）
成果4. 上記1-3のプログラムで得られた知識、技術を基に、改めて自国の防災計画/体制をレビューし、自国にあった防災体制/計画を構築するためのアクションプランを作成する。		関係省庁
		実施年度 2018～2020
主要協力機関	調整中	
特記事項及びホームページ	仙台防災枠組ターゲットE：2020年までに、国家・地方の防災戦略を有する国家数を大幅に増やす。 「災害統計」：統計的に災害情報を収集・分析は防災・減災、国土強靱化に寄与する政策決定に資する。	